

令和4年度 公園及び公園施設の指定管理者の選定委員会 議事録

1 日時 令和4年10月31日(月)13:30～14:40

2 場所 アクロス福岡 604 会議室

3 会議次第

第1号議案 令和3年度の事業評価について

第1号議案について、原案どおり承認された。

4 議事要旨(○:委員長、委員 △:事務局)

出席委員 5名

傍聴者 2名

○ 〈開会、資料確認、会議の公開説明・傍聴者有無報告〉

第1号議案について、事務局より説明をお願いします。

第1号議案 令和3年度の事業評価について

△ 〈第1号議案の説明〉

○ 1号議案について、A～Eの5段階評価、特に評価すべき点、次年度に向けて改善すべき点など、委員の意見を伺いたい。

○ 雁の巣レクリエーションセンターは、ショートカットによる通り抜け対策を講じたとのことだが、内容は。

△ ショートカットによる不正利用防止として、入場後3分以内の出庫ができないようにした。

○ 課題と思っていたため、解決策をよく考えたと思う。

○ 企画事業について、資料に収益額を記載している公園としていない公園があるが、なぜか

△ 今回、具体的な金額を記載している公園は、比較的収益が多いため特筆すべき事項として記載されたものとする。記載のない公園は収益面は低いものであるが、どの公園も様々な取り組みがなされていることは、提出された報告書の中で確認している。

○ 金額を記載している公園は、多くの利益を出し、その金額で施設修繕等を実施したというアピールを行っているということか。

△ そのとおりである。

○ 資料の中で、新規に取り組んだ事項も記載している公園としていない公園がある。指定管理者の判断とは思いますが、記載のない公園は、新規に取り組んだ事項がない印象を受ける。年々、管理が充実する中で記載がないとマイナスに感じると思う。記載については、管理者の裁量に任せているのか。

△ 報告書の内容は、事業者の裁量だが、事務局側も取り組んだ事項を積極的に記載するよう指示を行っている。長く指定管理業務を行うと新規事項の記載が難しいのも確かであるが、新規

の取組み事項は加点の大事な部分にもなるため、他の公園の事例も紹介しながら、各事業者が、新規の取組みが行われるよう協議していきたい。

- 横並びで見た場合、例えば今津運動公園について、屋外トイレ外壁清掃や木製ベンチ再生を新規取組みとして評価しているが、新規性の面で疑問である。
- △ 西部運動公園や今津運動公園で修繕を加点している理由は、従来は難しかった一斉修繕をコロナによる施設閉鎖期間を上手に利用して実施したという点を新規性として評価したものである。
- どの公園もしっかりと管理はしているので、アピールの上手さの面もある。
- 事務局から取組内容の報告を受けるので良いが、資料が1枚なのは簡潔で良いが分量が少ないと感じる。
- △ 実際には指定管理者から資料の概要版以外にも、項目毎の取組内容を記載する詳細な報告書の提出を受けている。
- ヒアリングは対面で実施しているのか。
- △ 実施している。
- 青葉公園はアンケートが未実施のため減点となっているが、以前から実施していないのか。
- △ これまでは実施しているが、コロナ禍で実施がしづらかったため令和3年度は未実施だったもの。事情は理解するが、アンケートは様々な取得媒体があることや他公園は実施していることで減点としている。
- 青葉公園は、締切遅延による減点もあるが、途中で指導は実施したのか。
- △ 遅延した書類は月報で業務の基本部分のため指導しており、今は改善されている。
- 来年度の要望として、評価した事項についても過去数年の経緯がわかるようにしてほしい。過去の記録がわかると、経年の蓄積ができて良いと思う。別紙で用意してもらえるとありがたい。
- △ 工夫したい。
- 桜原運動公園については、上級救命講習に参加したことと、実際に人命救助につながった成果で加点としたのか。
- そのとおりである。
- 様式として、指定管理業務における不適切な行為でマイナス10点という減点項目がすべての団体にあるが、特別に何か大きな問題を生じた場合を想定した項目になるのか。
- そのとおりである。
- 全体的には青葉公園以外は、昨年よりも総合点が上がっている。各公園特色が異なる中で、特に共通の傾向や、個別の公園の事情はあるのか。
- △ 加点箇所ですべて的に共通する傾向としては、①利用者ニーズに応じたサービス向上、⑤維持管理計画、⑧施設活用、⑭歳入の手引きの理解である。
①は、各公園アンケート等による利用者要望を把握し、的確にその対処を行っており、その取組みが目につきやすい項目である。⑤と⑧は、イベント実施と、その収益で管理費に充てる事例が多く、イベントの実施と管理の充実が絡み評価している例が多い。特に、桜原運動公園

や今津運動公園では地域と連携したイベントが近年は特に充実していると感じる。⑭も、実際には複雑な会計手続きがある業務だが、各公園しっかりと理解し正確に取り組んでいると感じている。

- 地域連携は、かなたけの里公園などでは結構当初から目立っていたと思うが、さらに、その他の公園でも事例が増えている。
- 加点項目のコメントは公開されるのか。
- △ 委員会評価部分は公開する。
- 他公園の評価を参考とし、加点された取組みを自分たちの公園でも実施することは効果的なため、しっかりと分析して何をするか、事業計画に関係させると、効率が良い。市全体としても、全体レベルが全体として向上することになる。
- △ 各指定管理者間で情報を共有できるような連絡会議と仕組みを設けているので、他の公園が良い事例を参考にできるようになればと考えている。
- 青葉公園と月隈パークゴルフ場はどうしても規模が小さいため、なかなか目立つような、いろんなインパクトあることがしにくいのかなという気がするが、どう考えているか。
- △ 特に月隈北緑地は大きな広場もなく、難しいと面があると感じているが、規模は小さくても、他公園の事例がうまく活用できればいいと考えている。
- 大阪の鶴見緑地公園を視察に行ったことがあるが、多数コースが多くあった。そういうパークゴルフ間の繋がりにどう取り組むのか。例えば大会誘致をすれば、プラス材料にはなるのではないか。
- △ 現在の利用者数は、ほぼ横ばいのため固定客が多いと思う。指定管理者からも新規利用者の増は課題の1つと言われており、例えば大会誘致等で新たな利用者層発掘ができれば良いと考えている。
- 大会誘致となると人が移動して宿泊するため、観光的にもすごく貢献ができる。
- 単一のサービスのみで他にサービスの工夫が難しい施設は、利用者数が平均を上回ると評価に値するような項目があれば良いのかもしれない。
- また、昨年度は閉園期間が長かったため芝生が非常に綺麗な状態である。芝生が多少剥けていても利用者が多いほうがいいのか、公園として芝生が青々とした状態で利用してもらえるのいいのか、どう考えているか。
- △ 利用者数をコントロールして緑の環境を維持するのが理想的と考える。
- 概要版に、管理レベルを上げるための工夫の内容や、利用者ニーズに合わせた管理の仕方の詳細を記載してほしい。公募の時点では沢山記載されているが、その後の経過が不透明な部分がある。
- 南池袋公園という池袋の都心のど真ん中に芝生が青々と茂っているカフェがある公園があるが、そこは平日ほとんど立入禁止だが、青々とした緑がものすごく良くて、土日には人がたくさん訪れる。そのような魅力発信も公園のひとつのあり方と思っている。
- 大阪だと天王寺公園には「てんしば」というエリアがあり、周りにショップや直売所が設置され

おり、緑を見ながらご飯を食べられるという魅力がある。

- 発想を変えると、キッチンカーを入れて夜カフェみたいにするのはありうるかもしれない。
- 福岡には、イギリス、アメリカ、オーストラリア、シンガポールといったいろんな国の人たちが訪れるが、まず公園として見た目が綺麗というのは大切で、ユーザー目線でも非常に大事である。その質が落としてまで、利用をおし進めるのはバランスが悪い。コスト以上に搾取してしまうと、持続的ではなく、地球環境の観点からもコストと搾取する量の均衡をどうするかが重要。公園という世界でも指定管理者や地域の方々が一生懸命コストをかけて手入れをしてくれている。それに見合った利用をしてもらうことで、公園のクオリティが維持できると、そこに評価が最大となると考えるのが理想である。つまり、たくさん人を入れるだけ、より評価が高くなってくると、公園の質は持続的ではないと考える。持続的ではないことに評価を与えるという話になってしまうので、この公園であれば、このぐらいのコストかけて望ましい利用者はこのぐらいだろうと、それでバランスをとって最大化するような評価の仕組みや公園の管理運営のあり方を考える必要があると思う。収益が上げて、さらに人もお金もコストをかけられるということになれば、もう少し利用人数の上積みもあり得るかもしれない。ただし、そうでなければ、あまり人を呼び込む方法だけを求めるのは、指定管理者にとっても酷であり、結果的に公園の質を落としてしまうことが懸念される。だから今回、収益を生むような事業に取り組んだのは良い事であるが、各公園それぞれの公園の個性があるので、個々の公園に応じた運営の仕方をまずは大切にするのが大事だと思う。したがって、公園間をあまり過度に競争させるのは、各公園の個性を無視することになりフェアではないと考える。管理費も違う中、そういう視点ではなくて、個々の公園に応じた評価というところで落ち着けばいい。昨年度については、各公園それぞれが良い点数のため良かったと思う。この資料からそれが見えてくるのが、大切なポイントと考える。
- 委員会としての意見の中に、サステナブルな取り組みについても評価していくと記載するのも良いと考える。その場合、まずサステナブルから勉強する必要があり、様々な取り組みがある中では、ピックアップが大変だがよく見えてくる。
サステナブルツーリズムという各ディスティネーションでやっているが、例えば、農業を観光に使うというなかなか発想はない。公園であれば伐採した枝をチップ化して肥料化するとい取り組みは、自然の循環をちゃんと作っており、サステナブルということで観光の方にもPRするという取り組みになる。公募時のときには結構書いていた事業者が多くいた。その点についても、来年度の重点項目ではないが、メッセージで出しておくという考えもあるかもしれない。
- 今回コロナ禍で閉園期間があり、そのメリットとして、修繕や芝生の養生など少し公園を休ませることができた。市としても、閉園期間をポジティブにとらえて公園を少し休ませる期間を設けるのがプラス、もしくは必要と考えるのであれば、部分的でも良いので指定管理者とも検討しては良いのではないか。
- 最近、防災は世間のキーワードになっているが、今回、防災の話は出てなかった。
- 地域連携型の防災訓練という形であるが、防災は公園における付加価値ではなく、絶対条件と思う。公園の責任として、周辺の防災面の中心となっていく要素があると思う。

- △ 公園は避難場所の機能があるため、その機能を住民によく理解して頂くことが大事であると考えている。そういう意味では、西部運動公園で防災教育の取組みを行っており、このような事例を他公園についても活用できるよう共有していきたいと思う。
- 防災計画は市の方で計画されるのか。
- △ 市で地域防災計画を作成しており、運動公園は避難場所として大きな役割を果たす。管理事務所の職員は勿論その役割を理解しているが、周辺の方々にも知ってもらえるような取り組みをしていきたい。
- 時々ニュースになっているが、施設の老朽化で事故が起きた場合、必ず施設のチェックをされていると思うが、それに関して何か指示するのか。
- △ 例えば遊具の老朽化が原因で事故が生じた場合、指定管理者公園も含め一斉点検を行う。また、遊具については毎年1回点検することになっており、その中で、安全性の確認を行っている。
- 各指定管理者は皆、努力していて、緑の質や安全面の質も維持しているが、なかなか見えてこない。この場合は書面なので限界があるが、そういう要素もある。
- 事業者同士で様々な繋がりがあり、最もベースになる緑の質もしっかりされている。利用者の事故については、氷山の一角であって1つ出てくるのであれば、ヒヤリハットがもっとたくさんある。普段から、しっかりしてユーザーの事故はできるだけ減らしていければ良い。
- それでは、他に意見がないようであれば、事務局案のとおり、委員会として議決する。事務局においては、令和3年度の事業評価について、速やかに市のホームページ等で公表するようお願いする。